

# 〔市立川西病院 内科〕

## 【研修内容と特徴】

プライマリケアを的確に実践するために、内科診療において遭遇することの多い疾患を中心に研修する。診察、検査を施行し、鑑別診断をし、治療方針を決定するのに必要な基本的事項を習得する。同時にさらに高次医療が必要かどうかを判断できる知識・技術を身に付ける。また、患者のQOLに配慮しつつ、現在の医療レベルに見合う最良の治療を実践し、地域医療との連携を含めた患者指導を行う能力を身に付ける。

## 【研修の実際】

1. 研修内容は内科全般において研修可能であるが、特に院内医師の専門性から、消化器・肝胆疾患、循環器疾患、糖尿病、呼吸器、神経疾患を中心に研修する。
2. 診断検査技術の研修としては、循環器では心エコー、消化器・肝胆では胃カメラ、腹部エコー、糖尿病・内分泌では頸動脈エコー、甲状腺エコー等の基本検査技術の研修を集中的に習得する。
3. 外来研修としては、プライマリーケアに習熟することを目標とし、一般外来、投薬診、救急外来において初診、再診、救急患者それぞれの状況における現病歴及び、現症のとり方と、カルテ記載法、検査オーダー、処方、処置法、患者及び家族への病状説明法を習得する。
4. 研修では、専門分野の指導医に随時病棟において診断、治療さらにインフォームドコンセントの取り方あるいはコメディカルとのコミュニケーション法の指導を受ける。マルク、ルンバール、TPN挿入等の臨床基礎技術の習得は日常臨床の過程で十分習熟可能。また、救急/重症患者の受け入れも積極的に行っており、その際に救急治療の指導を随時行っている。気管支挿管、レスピレーター管理、電氣的除細動、ペースメーカー手術、緊急内視鏡的止血術等の補助や実践を行う。

## 【教育に関する事項】

月・金の夕方 研修医回診で内科全員により症例検討を行う。

## 指導医等

副院長：厨子 慎一郎 はじめ 10 名

## 研修実施責任者

副院長：厨子 慎一郎

# 〔市立川西病院 外科〕

## 【研修内容と特徴】

1. 手術の適応の決定と手術の基本的な手技を取得する。
2. 外科患者と麻酔の関係についての基本事項を取得する。
3. 術前、術後管理を学ぶ。
4. 手術に助手として参加する。
5. CT、MRI、エコー、カメラ等の読影訓練を行う。
6. エコー、カメラ検査の実践訓練を行う。

(上部・下部・消化管)

7. 救急患者の処置を行う。
8. 緩和ケア

## 【研修の実際】

研修医に学んで欲しいことは、「外来での局所麻酔を用いた縫合処置や小手術」「救急患者への対応」「ヘモ・ヘルニア・アッペ・下肢静脈瘤の腰椎麻酔下での手術」「乳癌・胃癌・食道癌・胆石・肝癌・膵癌・大腸癌・直腸癌の全身麻酔下手術」などの外科治療は当然のことながら、疾患それぞれの診断法、術前術後管理であります。そして各々の患者さんを全人的視野に立って自分の身につけたそれらの技術を駆使して治療するという事です。さらに、新しいことにチャレンジし自分を磨いていくということです。

## 指導医等

副院長：土居 貞幸

## 研修実施責任者

主任診療部長：杉本 圭司

# 〔市立川西病院 小児科〕

## 【研修内容と特徴】

小児科診療に必要な基礎的知識、検査・手技、診察姿勢を習得するとともに、小児と成人との異なる点や小児特有の疾患を理解し、日常よくみられる小児疾患のプライマリケアに対応できることを目標とします。

また、入院診療においては、新生児を含む小児疾患への理解を深め、医療面接技術、診療手技の上達を図り、診断の確定、治療方針の決定と実施ができることを目指します。さらに、患児、家族に対して年齢に応じて説明を行い、同意を得ながら診療を行う姿勢を身に付けます。救急医療については、二次救急医療機関としての役割の理解と診療を習得します。

## 【研修の実際】

当科は、市立病院の小児科として地域医療においては二次医療機関としての役割を担っています。感染症を主として気管支喘息などのアレルギー疾患、川崎病、痙攣性疾患など様々な疾患の診療を行っています。NICU体制ではありませんが院内出生児を主として新生児医療も行っています。

小児は成長発達過程にあり様々な面で成人とは異なる対応が必要とされます。

疾患についても小児特有のものも多く、診察所見、検査所見なども成人との相違を理解した上での対処が必要です。成人との相違の理解や小児特有の疾患についてできるだけ多くを経験吸収してもらい、少なくとも小児によくみられる救急疾患への初期対応が身につくことを目標としております。

## 指導医等

主任診療部長：藤田 博

## 研修実施責任者

主任診療部長：藤田 博

# 〔市立川西病院 産婦人科〕

## 【研修内容と特徴】

産科：正常妊娠分娩産褥経過をよく理解し、異常の早期発見、早期対応ができるようにする。

妊娠による母体変化の理解、特に母児の関係構築の支援、正常新生児の一般的診療などについての基本的診療についての研修を行う。

婦人科（女性診療科）：婦人科良性疾患の診断治療を深める。

悪性腫瘍との鑑別診断について研修する。

不妊症の診断、治療について研修する。

## 【研修の実際】

当科は現在、産婦人科専門医3名にて、地域医療を担っております。プライマリケアに必要な産婦人科の知識・技術の習得には適した環境であると考えております。

具体的な研修項目としては、

- ・妊娠の検査、診断
- ・正常妊産褥婦の管理
- ・流、早産の管理
- ・異常分娩（帝王切開等）の管理
- ・急性腹症における産婦人科疾患の診断及び治療
- ・婦人科悪性疾患のスクリーニング
- ・婦人科良性疾患の診断及び治療
- ・不妊症、内分泌疾患の診断及び治療

等を予定しております。

## 【教育に関する事項】

日常診療以外のスケジュールとして

毎週 入院患者に対する症例検討会および術前検討会

## 指導医等

診療部長（嘱託）：尾崎 圭一郎

## 研修実施責任者

診療部長（嘱託）：尾崎 圭一郎